<table>
<tr><td>1</td><td>組織名称（略称）</td><td colspan="7">ITS情報通信システム推進会議 ITS Info-communications Forum
（ITS Forum）
https://itsforum.gr.jp/</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="3">分類</td><td rowspan="3">活動目的</td><td>◎</td><td>仕様策定</td><td>ー</td><td>実装・検証</td><td rowspan="2">オープンソース</td><td rowspan="2">該当なし</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>試験・認証</td><td>〇</td><td>普及・啓発</td></tr>
<tr><td>ー</td><td colspan="3">その他（　　）</td></tr>
<tr><td>対象技術分野</td><td colspan="2">③通信技術（近距離無線：WBAN、WPAN、WLAN関連）</td><td colspan="2">対象サービス</td><td colspan="2">④コネクテッドカー関連</td></tr>
<tr><td>技術MAP</td><td>活動エリア</td><td colspan="2">④モバイル系領域の活動を主に固定領域の活動も実施</td><td colspan="2">活動領域</td><td colspan="2">⑦APL(アプリケーション)領域の活動を実施</td></tr>
<tr><td>3</td><td>目的</td><td colspan="7">ITS情報通信システム推進会議は、ITS情報通信システムの早期実現を図るため、ITS情報通信システムに関する研究開発及び標準化の調査研究、関係機関との連絡調整、情報の収集、普及啓発活動等を行い、もって電波利用の健全な発展に寄与することを目的とする。
その目的を達するために以下の事業を行う。
(1)ITS情報通信システムに関する研究開発及び標準化の調査研究
(2)ITS情報通信システムに関する情報の収集、交換及び提供
(3)ITS情報通信システムに関する関係機関との連絡調整
(4)ITS情報通信システムに関する普及啓発
(5)その他本会の目的を達するために必要な事業</td></tr>
<tr><td>4</td><td>組織構成</td><td colspan="7">・総会、運営委員会、企画部会、事務局という体制。
・企画部会
ITS情報通信システムに関する標準化・研究開発の推進、 国内外の関連機関との情報交換、標準化動向の調査および普及啓発活動を行なっている。この配下に専門委員会・WG・TG を置く体制で活動。
・技術企画委員会（基盤技術と国際標準化に関する専門委員会・WGを横断した検討）
・高度化専門委員会（次世代ITSに有効な方式・メディアの検討、自動運転システム通信仕様の検討。配下に、次期システム企画TG、無線方式検討TG、放送システムSG、セルラー応用TG、CAV検討TGがある。）
・国際対応専門委員会（ITS通信技術・システムに関する国際標準化・国際協調活動および情報収集。配下に、国際標準化推進TGがある。）
・700MHz帯ITS実用化専門委員会（700MHz帯ITS実用化向けた運用支援、標準化推進、相互接続の検討。配下に、運用支援TG、標準化推進TG、相互接続TG、路路間通信システム検討TG、車車間通信システム推進TGがある。）
・5GHz帯路車間通信検討WG（ITS関連規格の維持・改訂と国際対応支援）
・ITSプラットフォームWG（狭域・広域通信メディア対応ITSプラットフォームの規格検討と関連規格の維持・改定）
・ミリ波WG（79GHz帯高分解能レーダーの国際協調対応とミリ波通信応用に関するアプリ・技術検討。配下に、ミリ波レーダーSWG、ミリ波通信SWGがある。）
・広報WG（ITS情報通信システム推進会議活動の普及啓発）

体制表： https://itsforum.gr.jp/Public/J1Purpose/P03/P03.html</td></tr>
<tr><td>5</td><td>参加資格
会費</td><td colspan="7">一般会員： 法人又は団体
年会費 10万円</td></tr>
</table>

		個人会員： 学識経験者等の個人（運営委員会の承認が必要） 　年会費　無料 顧問： 会長が学識経験者等のうちから委嘱 特別会員： 当会の事業を行うため、会長が特に必要と認めたもの 　年会費　不明	
6	主要メンバ （2022年4月現在） （注1）	メンバ：98（内日系：89） 1999年7月に当時の関連5省庁（郵政省，警察庁，通商産業省，運輸省，建設省）と主な電気通信事業者，自動車メーカー，機器メーカーが集まって発足しており、ボードメンバの記述は公開されている情報には含まれない。 　一般会員：71 　個人会員：6 　（顧問：2） 　特別会員：21 https://itsforum.gr.jp/Public/J4Links/Top.html	
7	他団体・組織との関係	ITS国内外団体との情報交換・事業協力 ・ITS America、ITS Japanなど	
8	TTC活動との関連性 （注2）	TTCの専門委員会活動との関係（☒関係あり、□関係なし） 関係する場合の専門委員会名（右欄より選択） 理由：	②コネックテッド・カー
9	活動状況	最新のトピックス ・2022/5/31「セルラー通信技術を用いたITS・自動運転の高度化に向けた課題調査報告書 補足資料（SIP協調型自動運転ユースケースに対する課題調査報告）」を公開 ・2022/4/15 第55回企画部会を開催 ・2022/3/31 RC-016「自転車・歩行者事故防止支援システム向け実験用通信メッセージガイドライン1.0版」を発行 ・2022/3/1 RC-014「ITSアプリケーションサブレイヤ仕様ガイドライン3.1版」の英語翻訳版を発行 ・2022/3/1 RC-014「ITSアプリケーションサブレイヤ仕様ガイドライン3.1版」を発行 ・2022/2/7 ミリ波WGによる2021年度の「ミリ波ITSワークショップ」を開催 ・2021/12/16 2021年度VSCセミナーを開催 ・2021/6/17「セルラー通信技術を用いたITS・自動運転の高度化に向けた課題調査報告書」改定版（概要）の英語翻訳版を公開 https://itsforum.gr.jp/	
10	設立時期	1999 年 7 月	
11	本部所在地	ITS情報通信システム推進会議事務局 〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F 一般社団法人電波産業会内 TEL：03-5510-8662 FAX：03-3592-1103 E-mail：its@arib.or.jp	
12	関連標準化技術	ITS（Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム）に関連する、DSRC（狭域通信）、700MHz帯高度道路交通システムなどの各種ガイドラインを作成しており、以下よりダウンロード可能である。 公開資料 https://itsforum.gr.jp/Public/J7Database/Top.html	

		ガイドライン発行一覧 https://itsforum.gr.jp/Public/guideline/Top.html		
13	権利関係（IPR Policy, Bylawsなど）	IPR Policy 公表されていない Bylaws https://itsforum.gr.jp/Public/J1Purpose/P02/P02.html（規約）		
14	備考（普及状況など）			
15	更新履歴	2004年	初版作成	
		2019年7月23日	更新	担当変更：鬼頭（KDDI）
		2022年6月22日	更新	メンバ数、活動状況

(2020年度版)

（注1）日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。
（注2）「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。